

## 近況報告(現状と課題・取り組み)

## (1) 施設福祉サービス部

## ① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
1. 昨年度と同様に肺炎での入院は多い。6月より、月1回、日赤看護大の名誉教授が来訪くださり、食事係を中心に食事摂取の難しい方や、車椅子上のポジショニングについて相談にのっていただいている。施設として改善出来ること、改善困難なこと(人・時間)の精査をしながら、ご利用者の食事をより大切にしていく必要がある。	1. 以前は、適量と考えていたトロミ剤の量を減らして使用している。また、ミキサー食のご利用者には違っておかずを食べて頂く時には、コップに入れた水で1回1回スプーンを洗って介助している(おいしく召し上がって頂く事と、水分が唾液の代わりになると教えていただき実施している。 2. 4月より温冷庫導入により、適温での提供が可能となり、美味しいと言われる方などおられた。

## ② ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
1. 新たな介護保険サービス等の検討や生活上の問題が発生した際は、本人・家族の気持ちを尊重し個別対応している。根底にある、ケアハウスでいつまでも生活できるわけではないという漠然とした不安感を、「この状態ならば生活できる」という安心感に変えていくことが課題。	1. 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)の勉強会を昨年度に引き続き開催し、利用者の生活のこれまでのことやこれからのことを整理して「これから手帳」を一緒に記入した。また、緊急時持ち出し物品の場所について職員と共有できるようにした。 2. 身元保証人に、ケアハウスでの生活に関して示した通信を発行した。今後年4回発行の入居者新聞を、身元保証人にも届ける予定。

## (2) 在宅福祉サービス部

## ① 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
1. 定期的なご利用者の入所や入院が重なり、5月の稼働率が特に低下した。今後も入所を控えている方、体調面で急変が考えられる方がおられる。 2. 利用者満足度調査において「見ていないので分からない」と書かれている項目もあったので、頂いたご意見への回答や日々の記録での発信をする必要がある。	1. 認知症ケア実践者研修、認知症リーダー研修に参加し、体制が整ったため、10月より認知症ケア加算を算定する。 2. ショートステイ担当がケア係より4名兼務で加わり、送迎などを行うことで在宅生活の実際が体感的に共有する事が出来た。

## ② デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
1. PR 活動用のパンフレットを作成中であるが完成に至っていない。合わせて下半期から実施予定の認知症予防を含む運動プログラムを準備中である。	1. 稼働率の向上のためパンフレットの作成、プログラム準備に引き続き取り組んで行く。

## ③ デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 稼働率は引き続き安定しているが、午前に介護保険内に空きがある。	1. 5月頃より、月末に関係居宅へ訪問し情報提供を行っている。

## ④ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 稼働率が引き続き、安定しない。	1. 5月頃より、月末に関係居宅へ訪問し情報提供を行っている。→1 ケース利用につながった。引き続き、各居宅を周り、PRを行っていく。体験の問い合わせは増加。

## ⑤ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
1. 稼働率が安定してきた。ほぼ満員の状態を維持している。午後開催については、他サテライトや他デイの状態を踏まえて判断する。	1. 5月頃より、月末に関係居宅へ訪問し情報提供を行っている。

## ⑥ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
1. ショートステイの利用や入所、入院等により、稼働率が安定しない。 2. 6/22 に家族介護者懇談会を実施。 3. 外国人の方の利用再開。	1. 居宅事業所向けのパンフレットを作成し、営業を実施。 2. 4 家族 5 名のご家族が参加。 3. 英語を話せるボランティアを募集中。

## ⑦ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 生活支援員2名入職、登録ヘルパー2名退職、ヘルパー人数減になり調整難あるが訪問件数は増えた。 2. 1人1人の技術不足が課題。 3. 身体介護のケースが少なくなっている。	1. 引き続き調整し、誰もが訪問出来るようにする。 2. 研修の充実を図る。 3. 居宅挨拶廻り実施。

## ⑧ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 家庭内で複合した問題を抱えるケースや精神疾患のある方のサービス調整に苦慮する状況が増えてきた。 2. 6/20 実地指導・ケアプラン点検が行われた。	1. 係内ミーティングで相談の機会を設けている。複数ケアマネージャーの強みが活かせるよう意見を出し合い、検討を行っている。 2. 文書による指摘事項はなかった。引き続き、法令遵守に基づき、適正な事業運営に努める。

## (3) 福祉総務部

## ① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
1. ボランティアの高齢化と減少。 2. 配食数の減少。	1.2. 配食サービス連絡会で現状について話し合いを行った。今後の在り方について、包括支援センターと調整しながら進める。

## ② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. ケアマネージャーから、複数の訪問依頼をいただいている。	1. 第1回目の養成基礎研修の修了者が3名しかおらず、引き続き、訪問可能な支援員が不足がちだが、隔週訪問にするなど少しでも訪問に繋げられるように対応する。

## ③ 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) 1. 恒例の地御前4丁目集会所で介護予防教室を開催。	(出張介護教室) 1. 引き続き、阿品、阿品台地区のサロンを中心に参加させていただくとともに、先方のニーズに応じた内容を立案、提案していく。
(出前コグニサイズ) 1. これまでのフォローアップのため、「わいわいサロン」で開催。	(出前コグニサイズ) 1. 依頼に基づく開催を継続する。

## ④ その他

現状と課題	取り組み
(人材育成) 1. 清鈴園・廿日市高齢者ケアセンター研修システムにおける階層別研修等を継続開催している。具体的な能力開発、自己理解・自己覚知、福祉理念の理解の促進などが課題である。	(人材育成) 1. 福祉理念・尊厳を大切にできる職員の育成に繋がるような研修になるよう、中堅1研修のカリキュラム見直しに着手している。福祉の専門職として「尊厳」をより大切にできる能力開発の仕組みを構築したい。

<p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 第1回の受講者5名のうち、修了者は3名だった。</p>	<p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 受講者確保の為、第2回の開催場所である大野東市民センターで開催された講演会でチラシを配布したり、今までより多くの募集要項を配布した。</p>
<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 第1回の研修を5月から開催し、修了者は、11名だった。</p>	<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 修了者が生活支援員として就労に繋がっているかは不明で、年1回の就労状況などの調査票を年明けに送付する。</p>
<p>(介護のお仕事「きっかけ講座」)</p> <p>1. 第1回の研修を5月から開催し、2名の方が受講された。</p>	<p>(介護のお仕事「きっかけ講座」)</p> <p>1. 1名の方が介護職に従事された。</p>
<p>(廿日市市介護人材確保研修修了者コーディネート事業)</p> <p>1. 今年度より、市から委託を受けた。廿日市市内の介護事業所の求人情報をケアセンターと市のホームページから閲覧することが可能。</p>	<p>(廿日市市介護人材確保研修修了者コーディネート事業)</p> <p>1. 生活支援員研修と介護のお仕事「きっかけ講座」の修了生が確実に介護就労に繋がるよう、情報を発信する。</p> <p>2. 引き続き、修了者の現状把握のための調査を行うとともに、就労意欲を高める為の研修を年明けに実施する。</p>
<p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <p>1. 職場体験</p> <p>◇ 5月まで、2か月に1回、職場体験の機会を持っていただいた。</p> <p>2. 鍋奉行活動支援</p> <p>◇ 3月と5月に喫茶ぽっぽで、6月にさろん阿品で活動していただいた。</p>	<p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <p>1. 職場体験</p> <p>◇ 各メンバーのニーズを確認出来ずに活動を継続していただいているので、改めて社会福祉協議会と連携し、今後の展開を協議する。</p> <p>2. 鍋奉行活動支援</p> <p>◇ 引き続き、社会福祉協議会のホームページや活動報告紙で活動をPRし、活動紹介やボランティア確保に繋げる。</p>
<p>(カフェなかま)</p> <p>1. 木曜日に喫茶ポップをお貸しして、500円程度のランチを提供している。</p>	<p>(カフェなかま)</p> <p>1. 都合によって毎週行うことができない場合があるが、好評を得ている。</p>